

Office 10 パッケージ版 オフィス外からのアクセス

バージョン 10.0.2

オフィス外からのアクセス

オフィス外からサイボウズ Officeにアクセスするには、システム管理者がユーザーのアクセスを許可しておく必要があります。
必要な設定は、オフィス外からのアクセスに使用する端末やアプリケーションによって異なります。

■ オフィス外のパソコンからアクセスするには

オフィス外のパソコンから、サイボウズ Officeにアクセスを許可するには、リモートサービスやVPN環境など、外部ネットワークからサイボウズ Officeに安全にアクセスできる環境が必要です。

サイボウズ製品では、リモートサービスを利用できます。

■ 製品サイト : [リモートサービス](#)

外出先の端末への通知設定

外出先でサイボウズ Officeの通知を確認する場合は、ユーザーが携帯する端末のメールアドレスを、メール通知の宛先に指定します。
次のアプリケーションのメール通知を、指定する端末のメールアドレスに送信できます。

- 予定
- 電話メモ
- カスタムアプリの更新通知
- ワークフローの申請

メール通知の宛先は、ユーザー側でも設定できます。
システム管理者の操作では、各ユーザーのメール通知の宛先をまとめて設定します。

1. システム設定画面で、 **モバイル** をクリックします。

[システム設定画面にアクセスする](#)

2. **ユーザー情報** をクリックします。

3. メールアドレスを設定するユーザーの **変更する** をクリックします。

左上のドロップダウンリストを利用すると、一覧に表示するユーザーを、所属組織ごとに絞り込めます。

4. モバイルメールアドレスを入力し、**変更する** をクリックします。

確認用とあわせ2回入力してください。



- モバイルメールアドレスの入力ミスは、情報漏洩の原因となる可能性があります。十分に注意して入力してください。
- 設定したモバイルメールアドレスは、ケータイのログインURLや、KUNAIの設定ファイルの送信先としても利用されます。これらの設定に影響しないことを確認してから、モバイルメールアドレスを変更してください。

ケータイ

ケータイは、フィーチャーフォンからサイボウズ Officeにアクセスできるアプリケーションです。

スマートフォンでは利用できません。

ケータイの操作画面は、フィーチャーフォン向けの画面が表示されるため、通常のWebブラウザで表示する画面と異なります。

ここでは、**リモートサービスをお使いの場合を例に**、ケータイの利用に必要なシステム管理者の設定を説明します。

利用条件

ケータイの準備をする前に、次の利用条件を満たしていることを確認してください。

- 端末がケータイ機能の動作環境に対応している。
詳細は、次のページを参照してください。
[📄 動作環境](#)
- オフィス外からサイボウズ Officeにアクセスできる環境である。
リモートサービスやVPN環境など、外部ネットワークからサイボウズ Officeに安全にアクセスできる環境が必要です。



- リモートサービスやVPN環境などを利用しない場合、次のURLがケータイのアクセスURLとなります。
例：
「http://（サーバーのIPアドレスまたはFQDN）/scripts/cbag/k.exe」
このようなURLは第三者が推測しやすく、不正にアクセスされる恐れがあります。
リモートサービスやVPN環境を経由する場合、ケータイのログインURLがより複雑な文字列になるため、不正アクセスの危険を回避できます。
ケータイを利用する場合は、リモートサービスやVPN環境などを準備することを強く推奨します。

ケータイの設定の流れ(リモートサービス利用時)

端末からサイボウズ Officeにアクセスする際は、ケータイ用のユーザー情報やログインURLなどの準備が必要です。

ここでは、システム管理者が行う設定の流れを説明します。

Step1

ケータイの利用条件を満たしていることを確認します。

[📄 利用条件](#)

Step2

リモートサービス側での作業 リモートサービスのライセンスが有効であることを確認します。

Step3

リモートサービス側での作業 リモートサービスマネージャーに、お使いのサイボウズ Officeと、ケータイの利用ユーザーを登録します。

[📄 利用製品を管理する：サイボウズ製品の場合](#)

[📄 利用ユーザーを追加する](#)

Step4

リモートサービス側での作業 ケータイのログインURLを確認します。

[📄 リモートサービスマニュアル：アクセス情報をユーザーに連絡する](#)

次のようなURLを確認できます。

- 例：
http://remote2.cybozu.co.jp/R*****/ABCDEFHG/scripts/cbag/k.exe?

Step5

サイボウズ Office側での作業 システムメールアカウントの設定が完了していることを確認します。

ケータイのログインURLは、メールでユーザーに送信されます。
このメールの差出人情報に、システムメールアカウントを使用します。
次の両方の設定が必要です。

- システムメールアカウントをケータイのログインURL送信に使用する。
 [システムメールアカウントを使う機能を設定する](#)
- システムメールアカウントを設定する。
 [システムメールアカウントを設定する](#)

Step6

サイボウズ Office側での作業 ケータイを有効にします。

 [ケータイを有効にする](#)

Step7

サイボウズ Office側での作業 ケータイで使用するアプリケーションを設定します。

 [ケータイで使うアプリケーション](#)

Step8

サイボウズ Office側での作業 ケータイのユーザー情報を設定します。

 [ユーザー情報を設定する](#)

Step9

サイボウズ Office側での作業 Step5で確認したURLを、ケータイのログインURLに設定します。

 [ログインURLを設定する](#)

Step10

サイボウズ Office側での作業 必要に応じて、ケータイの自動ログインを設定します。

 [自動ログインを設定する](#)

Step11

サイボウズ Office側での作業 ユーザーに、ケータイのログインURLを送信します。

 [端末にログインURLを送信する](#)

ケータイを有効にする

ケータイを使用するには、システム設定でケータイを有効にする必要があります。

ケータイを有効にするには、サイボウズ Office全体で、ケータイで使用するアプリケーションを有効にした後、特定のユーザーにケータイとケータイで使用するアプリケーションを許可する必要があります。

初期状態では、すべてのユーザーがケータイを使用できます。

使用するアプリケーションの設定

サイボウズ Office全体で、ケータイで使用するアプリケーションが有効になっていることを確認します。

1. システム設定画面で、 **使用するアプリケーション** をクリックします。

 [システム設定画面にアクセスする](#)

2. ケータイで使用するアプリケーションが選択されていることを確認し、**設定する** をクリックします。

個人に許可するアプリケーション

ケータイを利用するユーザーに、ケータイの使用とケータイで使用するアプリケーションが許可されていることを確認します。
「使用するアプリケーションの設定」で無効に設定されているアプリケーションは、「個人に許可するアプリケーション」に表示されません。

1. システム設定画面で、**個人に許可するアプリケーション** をクリックします。
[システム設定画面にアクセスする](#)
2. ケータイの使用を許可するユーザーの **設定する** をクリックします。
3. ケータイを選択します。
ユーザーの利用を禁止する場合は、選択を外します。
4. ケータイで使用するアプリケーションを選択し、**設定する** をクリックします。



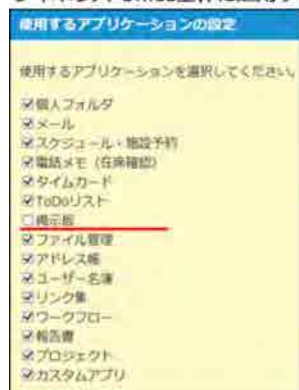
● 各アプリケーション機能を無効にする場合の注意

機能を無効にすると、各アプリケーションに登録済のデータは非表示になります。削除はされません。
各アプリケーションを再度有効にすると、登録済みのデータが表示されます。

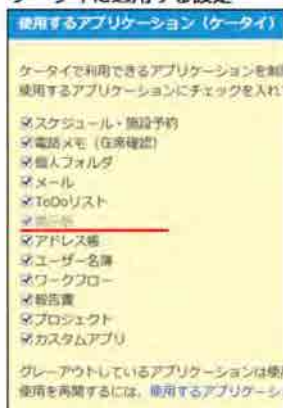
ケータイで使うアプリケーション

ユーザーがケータイで利用できるアプリケーションを制限します。
ユーザーのケータイの画面には、利用可能なアプリケーションのみ表示されます。
例：

サイボウズ Office全体に適用する設定



ケータイに適用する設定



1. システム設定画面で、**モバイル** をクリックします。
[システム設定画面にアクセスする](#)
2. 「ケータイ」セクションの **使用するアプリケーション** をクリックします。
3. 使用を許可するアプリケーションを選択し、**変更する** をクリックします。

ユーザー情報を設定する

ケータイのアクセスURLの送信先や、ケータイのログイン名など、ケータイの利用に必要なユーザー情報を設定します。

1. システム設定画面で、 **モバイル** をクリックします。

[システム設定画面にアクセスする](#)

2.  **ユーザー情報** をクリックします。

3. ユーザー情報を設定するユーザーの  **変更する** をクリックします。

左上のドロップダウンリストを利用すると、一覧に表示するユーザーを、所属組織ごとに絞り込めます。

4. **モバイルメールアドレスを入力します。**

確認用とあわせ2回入力してください。

ケータイのアクセスURLの送信先に利用します。



- モバイルメールアドレスの入力ミスは、情報漏洩の原因となる可能性があります。十分に注意して入力してください。
- 設定したモバイルメールアドレスは、端末宛でのメール通知の宛先や、KUNAIの設定ファイルの送信先としても利用されます。これらの利用に影響しないことを確認してから、モバイルメールアドレスを変更してください。
- ケータイのログインURLは、ケータイのユーザー情報が含まれているため、ケータイ用のログイン名やパスワードを変更すると、ログインURLが変わります。
この場合、ケータイの利用ユーザーに、再度、ログインURLを送信してください。

5. **ケータイのログイン名とパスワードを入力します。**

パスワードは、確認用とあわせ2回入力してください。

6. 入力内容を確認し、**変更する** をクリックします。

CSVファイルでユーザー情報を管理する

ケータイのユーザー情報をCSVから読み込んだり、書き出したりします。

CSVファイルから読み込む

CSVファイルからケータイのユーザー情報を読み込みます。

ユーザーIDが登録済のユーザーと一致する場合、CSVファイルの内容で、ケータイのユーザー情報が更新されます。

1. **CSVファイルから読み込める項目を確認します。**

[CSVファイルで管理できる項目](#)：[モバイルのユーザー情報](#)

2. 次のどちらかの方法で、ユーザーのデータをCSVファイルで準備します。

- Excelなどを使って、CSVファイルを作成する。
[CSVファイル作成時の注意点](#)
- サイボウズ Officeから書き出したCSVファイルを編集する。
[CSVファイルに書き出す](#)

3. 準備したファイルを「CSV(カンマ区切り)(*.csv)」の形式で保存します。

4. システム設定画面で、 **モバイル** をクリックします。

[システム設定画面にアクセスする](#)

5.  **ユーザー情報** をクリックします。

6. 画面下部にある **CSVファイルから読み込む** をクリックします。

7. 手順3で保存したファイルを選択し、CSVファイルの文字コードを選択して、**次に、ファイルの中身を確認する >>]**をクリックします。



- CSV ファイルの文字コードを、次の中から選択します。
- ・ 自動判定
システムが自動で、読み込むファイルの文字コードを判別します。
文字コードの種類が不明な場合は、「自動判定」を選択します。
 - ・ シフトJIS
 - ・ UTF-8

8. 次の項目を設定します。

- ・ CSVファイルのユーザー情報項目との関連付け：
CSVファイルのどの列のデータを、ユーザー情報のどの項目に登録するのかを設定します。
- ・ CSVファイルの先頭行を項目名として無視するかどうか：
ファイルの1行目に項目名を入力している場合は、「先頭行を項目名として無視する」を選択します。

9. プレビューで、読み込むデータを確認し、読み込む をクリックします。

プレビューには、ファイルの先頭から5行分のデータが表示されます。

CSVファイルに書き出す

ケータイで使用するユーザー情報をCSVファイルに書き出します。バックアップデータとして保管できます。

CSVファイルには、ケータイに関するデータだけでなく、サイボウズ Officeで設定しているユーザー情報の全データが書き出されます。

1. CSVファイルに書き出せる項目を確認します。

☑ CSVファイルで管理できる項目：[モバイルのユーザー情報](#)

2. システム設定画面で、モバイル をクリックします。

☑ [システム設定画面にアクセスする](#)

3. ユーザー情報をクリックします。

4. 画面の下部にある CSVファイルへ書き出す をクリックします。

5. 書き出す項目と、CSVファイルの文字コードを選択し、次に、書き出す内容を確認する >> をクリックします。

順番を変更する項目を選択し、順番変更ボタンをクリックして並びを変更します。

ファイルの1行目に項目名を書き出す場合はチェックボックスを選択します。

CSV ファイルの文字コードを、次の中から選択します。

- ・ シフトJIS
- ・ UTF-8 (BOM なし)
- ・ UTF-8 (BOM あり)

右側の項目選択欄で、書き出す項目を選択し、[←追加]をクリックします。削除する場合は、左側の項目欄で、削除する項目を選択し、[削除→]をクリックします。

6. ファイルの中身をプレビューで確認して、書き出す をクリックします。

7. Webブラウザのファイル保存機能を使って、ファイルを保存します。

ログインURLを設定する

ユーザーに送信するケータイのログインURLを設定します。

ケータイのログインURLは、端末からサイボウズ Officeにログインするために必要なアクセスURLです。

端末からログインURLをクリックすると、ケータイのログイン画面が表示されます。

1. 「ケータイの設定の流れ」のStep1～Step10までの設定が完了していることを確認します。
[ケータイの設定の流れ\(リモートサービス利用時\)](#)
2. システム設定画面で、 **モバイル** をクリックします。
[システム設定画面にアクセスする](#)
3. 「ケータイ」セクションの  **ログインURLの送信** をクリックします。
4. リモートサービスまたはVPN環境などで準備したログインURLを入力し、**変更する** をクリックします。



- リモートサービスを利用している場合のログインURL

リモートサービスマネージャーで確認したログインURLを入力してください。

次のようなURLを確認できます。

■ 例：

`http://remote2.cybozu.co.jp/R*****/ABCDEF GH/scripts/cbag/k.exe?`

`http://remote2.cybozu.co.jp/R*****/ABCDEF GH/cgi-bin/cbag/k.cgi?`

確認方法は次のページを参照してください。

[リモートサービスマニュアル：アクセス情報をユーザーに連絡する](#)

自動ログインを設定する

Cookie対応の端末フォンを使用しているユーザーに、自動ログインを許可するかどうかを設定します。

自動ログインを許可すると、一度ログインした情報が端末に保存されるため、指定した期間内であれば次回からログイン情報を入力せずにケータイにアクセスできます。

Cookie非対応の端末では、自動ログイン機能を利用できません。ケータイにアクセスする際は、通常のログイン操作をする必要があります。

1. システム設定画面で、 **モバイル** をクリックします。
[システム設定画面にアクセスする](#)
2. 「ケータイ」セクションの  **自動ログイン** をクリックします。
3. 「自動ログイン」欄で「許可する」を選択します。
4. ログインを保持する期間を入力し、**設定する** をクリックします。
ログインを保持する期間は、1～10日間から選択できます。初期値は3日間です。

端末にログインURLを送信する

ケータイのログインURLを記載したメールを、指定するユーザーのモバイルメールアドレスにまとめて送信します。

次の手順に従ってログインURLを送信する場合、メールの差出人(From)には、システムメールアカウントが使用されます。

1. 「ケータイの設定の流れ」のStep1～Step10までの設定が完了していることを確認します。
[ケータイの設定の流れ\(リモートサービス利用時\)](#)
2. システム設定画面で、 **モバイル** をクリックします。
[システム設定画面にアクセスする](#)
3. 「ケータイ」セクションの  **ログインURLの送信** をクリックします。
4. ログインURLを送信するユーザーを選択し、**送信する** をクリックします。



- ケータイのログインURLは、個人設定からでも送信できます。

ただし、個人設定から送信できるログインURLは、自分自身のログインURLのみです。

また、ログインURLは個人設定の画面には表示されません。

差出人にシステムメールアカウントを使用する

ケータイのログインURLのメール送信の差出人にシステムアカウントを使用する場合は、次の手順で設定します。

Step1

ログインURLの送信にシステムメールアカウントを使用する設定にします。

1. システム設定画面で、 **システムメールアカウント** >  **使用する機能** の順にクリックします。
[システム設定画面にアクセスする](#)
2. 「メール送信」欄で「ケータイのURL送信に使用する」を選択し、**設定する** をクリックします。
3. システム設定（システムメールアカウント）メニューで  **システムメールアカウントの登録** をクリックし、システムメールアカウントを設定します。
操作の詳細は、次のページを参照してください。
[システムメールアカウントを設定する](#)

Step2

ログインURLを送信します。

- [端末にログインURLを送信する](#)

差出人にユーザーのメールアカウントを使用する

ケータイのログインURLのメール送信の差出人にユーザーのメールアカウントを使用する場合は、次の手順で設定します。

Step1

システム管理者の作業 設定ファイルの送信にシステムメールアカウントを使用しないよう設定します。

1. システム設定画面で、 **システムメールアカウント** >  **使用する機能** の順にクリックします。
[システム設定画面にアクセスする](#)
2. 「メール送信」欄で「ケータイのURL送信に使用する」の選択を外し、**設定する** をクリックします。

Step2

システム管理者の作業 メール機能を有効にします。

1. システム設定画面で、 **使用するアプリケーション** をクリックします。
[システム設定画面にアクセスする](#)
2. 「メール」が選択されていることを確認し、**設定する** をクリックします。

Step3

システム管理者の作業 ユーザーのメールアカウントを登録します。

1. システム設定画面で、 **メール** >  **メールサーバーの登録** をクリックし、メールサーバーを設定します。
操作の詳細は、次のページを参照してください。
[メールサーバーの設定](#)
2. システム設定画面で、 **メールアカウントの登録** をクリックし、各ユーザーのメールアカウントを設定します。
操作の詳細は、次のページを参照してください。
[メールアカウントの設定](#)

これで、システム管理者側の設定は完了です。

Step4

ユーザーの作業 端末に自分自身のログインURLを送信します。

Step3が完了したら、ユーザーにログインURLの送信準備が完了したことを連絡してください。

- [個人設定：ログインURLを準備する](#)

利用を一時停止する

長期間使用しない場合や、端末を紛失した場合は、ケータイの利用を一時停止し、サイボウズ Officeにログインできない状態にします。

■ 1人ずつ一時停止にする

1. システム設定画面で、 **モバイル** をクリックします。
[システム設定画面にアクセスする](#)
2. 、 **ユーザー情報** をクリックします。
3. 一時停止にするユーザーの  **変更する** をクリックします。
4. 「ケータイ」セクションで、「ケータイの利用を一時停止する」を選択し、**変更する** をクリックします。

■ 複数のユーザーをまとめて一時停止にする

1. システム設定画面で、 **モバイル** をクリックします。
[システム設定画面にアクセスする](#)
2. 「ケータイ」セクションの、 **利用の一時停止(ユーザーごと)** をクリックします。
3. 一時停止にするユーザーを選択し、**←追加** をクリックします。
4. 設定を確認し、**変更する** をクリックします。

KUNAI

KUNAIは、スマートフォン専用のアプリケーションです。
iPhone端末やAndroid端末から、サイボウズ Officeにアクセスできます。

 [サイボウズ KUNAI](#)

KUNAIの利用に必要な、システム管理者の設定について説明します。

利用条件

KUNAIの準備をする前に、次の利用条件を満たしていることを確認してください。

- 端末のOSがKUNAIの動作環境に対応している。
詳細は、次のページを参照してください。
 KUNAI : [動作環境](#)
- お使いのサイボウズ Officeのライセンスが有効である。
- オフィス外からサイボウズ Officeにアクセスできる環境である。
リモートサービスやVPN環境など、外部ネットワークからサイボウズ Officeに安全にアクセスできる環境が必要です。

KUNAIで利用できるアプリケーション

KUNAIでは、サイボウズ Office側で使用を許可しているアプリケーションのみ利用できます。
使用を許可するアプリケーションを変更する場合は、次の2つの設定を変更します。

-  使用するアプリケーションの設定
-  個人に許可するアプリケーション

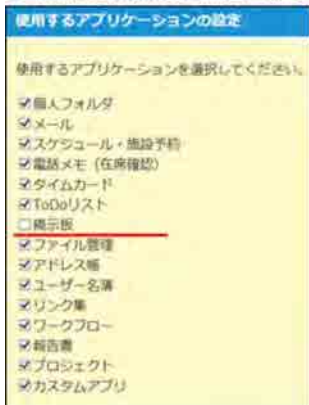
設定の詳細は、次のページを参照してください。

 [使用するアプリケーション](#)

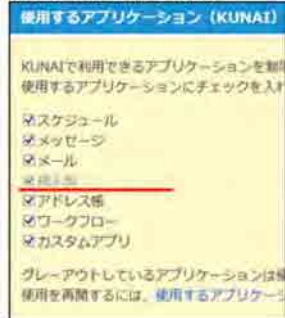
KUNAIで使うアプリケーション

ユーザーがKUNAIで利用できるアプリケーションを制限します。
ユーザーのKUNAIの画面には、利用可能なアプリケーションのみ表示されます。
例：

サイボウズ Office全体に適用する設定



KUNAIに適用する設定



サイボウズ Office全体で利用が許可されていないアプリケーションの項目は、グレーアウトで表示され選択できません。



- アドレス帳をKUNAIで使用するアプリケーションに選択すると、スマートフォン端末のアドレス帳とサイボウズ Officeのアドレス帳がリンクされます。

1. システム設定画面で、 **モバイル** をクリックします。
[システム設定画面にアクセスする](#)
2. 「KUNAI」セクションの **使用するアプリケーション** をクリックします。
3. 使用を許可するアプリケーションを選択し、**変更する** をクリックします。

ユーザー情報を設定する

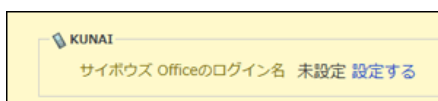
KUNAIに使用するログイン名や、KUNAIの設定ファイルの送信先を設定します。

1. システム設定画面で、 **モバイル** をクリックします。
[システム設定画面にアクセスする](#)
2. **ユーザー情報** をクリックします。
3. ユーザー情報を設定するユーザーの **変更する** をクリックします。
左上のドロップダウンリストを利用すると、一覧に表示するユーザーを、所属組織ごとに絞り込めます。
4. **モバイルメールアドレスを入力します。**
確認用とあわせ2回入力してください。
KUNAIの設定ファイルの送信先に利用します。サイボウズリモートサービスをご利用の場合は、設定不要です。

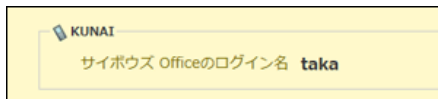


- モバイルメールアドレスの入力ミスは、情報漏洩の原因となる可能性があります。十分に注意して入力してください。
- 設定したモバイルメールアドレスは、端末宛てのメール通知の宛先や、KUNAIの設定ファイルの送信先としても利用されます。これらの利用に影響しないことを確認してから、モバイルメールアドレスを変更してください。

5. 「KUNAI」セクションの **設定する** をクリックし、サイボウズOffice のログイン名を設定します。



ログイン名が設定されている場合は、**設定する** は表示されません。手順6に進みます。



6. 入力内容を確認し、 **変更する** をクリックします。

CSVファイルでユーザー情報を管理する

KUNAI用のユーザー情報をCSVから読み込んだり、書き出したりします。

CSVファイルから読み込む

CSV ファイルからKUNAI用のユーザー情報を読み込みます。

ユーザーIDが登録済のユーザーと一致する場合、CSVファイルの内容で、KUNAI用のユーザー情報が更新されます。

1. CSVファイルから読み込める項目を確認します。

 CSVファイルで管理できる項目：[モバイルのユーザー情報](#)

2. 次のどちらかの方法で、ユーザーのデータをCSVファイルで準備します。

- Excelなどを使って、CSVファイルを作成する。

 [CSVファイル作成時の注意点](#)

- サイボウズ Officeから書き出したCSVファイルを編集する。

 [CSVファイルに書き出す](#)

3. 準備したファイルを「CSV(カンマ区切り)(*.csv)」の形式で保存します。

4. システム設定画面で、 **モバイル** をクリックします。

 [システム設定画面にアクセスする](#)

5.  **ユーザー情報** をクリックします。

6. 画面下部にある [CSVファイルから読み込む](#) をクリックします。

7. 手順3で保存したファイルを選択し、CSVファイルの文字コードを選択して、 **次に、ファイルの中身を確認する >>** をクリックします。



CSV ファイルの文字コードを、次の中から選択します。

- ・ 自動判定
システムが自動で、読み込むファイルの文字コードを判別します。
文字コードの種類が不明な場合は、「自動判定」を選択します。
- ・ シフトJIS
- ・ UTF-8

8. 次の項目を設定します。

- CSVファイルのユーザー情報項目との関連付け：
CSVファイルのどの列のデータを、ユーザー情報のどの項目に登録するのかを設定します。
- CSVファイルの先頭行を項目名として無視するかどうか：
ファイルの1行目に項目名を入力している場合は、「先頭行を項目名として無視する」を選択します。

9. プレビューで、読み込むデータを確認し、 **読み込む** をクリックします。

プレビューには、ファイルの先頭から5行分のデータが表示されます。

CSVファイルに書き出す

KUNAI用のユーザー情報をCSVファイルに書き出します。バックアップデータとして保管できます。

1. CSVファイルに書き出せる項目を確認します。

☐ CSVファイルで管理できる項目：[モバイルのユーザー情報](#)

2. システム設定画面で、 **モバイル** をクリックします。

☐ [システム設定画面にアクセスする](#)

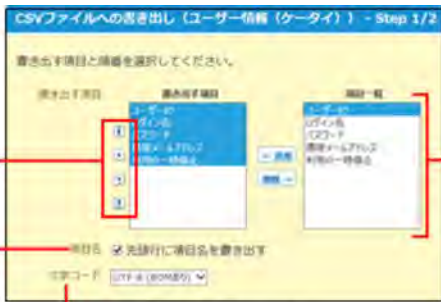
3. **ユーザー情報** をクリックします。

4. 画面の下部にある **CSVファイルへ書き出す** をクリックします。

5. 書き出す項目と、CSVファイルの文字コードを選択し、

次に、書き出す内容を確認する >>

 をクリックします。



順番を変更する項目を選択し、順番変更ボタンをクリックして並びを変更します。

ファイルの1行目に項目名を書き出す場合はチェックボックスを選択します。

右側の項目選択欄で、書き出す項目を選択し、[←追加]をクリックします。削除する場合は、左側の項目欄で、削除する項目を選択し、[削除→]をクリックします。

CSV ファイルの文字コードを、次の中から選択します。

- ・ シフトJIS
- ・ UTF-8 (BOM なし)
- ・ UTF-8 (BOM あり)

6. ファイルの中身をプレビューで確認して、

書き出す

 をクリックします。

7. Webブラウザのファイル保存機能を使って、ファイルを保存します。

KUNAIの設定ファイルを準備する

KUNAIの設定ファイルは、KUNAIをインストールした後に行う初期設定を簡単にするための設定ファイルです。KUNAIのインストールアーカイブではありません。

システム管理者の操作では、準備したKUNAIの設定ファイルを、KUNAIの利用ユーザー宛てにまとめて送信します。

設定ファイルの利用条件

KUNAIの設定ファイルは、次の条件をすべて満たす場合に利用できます。

- サイボウズ Officeを使用している。
- リモートサービス以外のVPN環境を使用して、オフィス外からサイボウズ Officeにアクセスできる環境がある。
- ユーザーのスマートフォン端末にKUNAIをインストールしている。
 - ☐ [KUNAI for iPhoneのインストール作業](#)
 - ☐ [KUNAI for Androidのインストール作業](#)

☐ KUNAIの設定ファイルを利用できない場合

リモートサービスをお使いの場合、KUNAIの設定ファイルを利用できません。

リモートサービスをお使いの場合は、お使いの環境にあったKUNAIの設定を手動で行う必要があります。

詳細は下記のマニュアルを参照してください。

● MDMオプションを使用している場合：

リモートサービスマネージャーの端末管理機能(MDMオプション)を使用します。

KUNAIでカスタムアプリや掲示板などを利用する際は、クライアント証明書をユーザーの端末にインストールする必要があります。

-  KUNAI for iPhone : [MDMオプションを使用している](#)
-  KUNAI for Android : [MDMオプション\(Mobile Device Manager オプション\)の場合](#)
- MDM オプションを使用していない場合 :**
 リモートサービスマネージャーからアクセス情報とクライアント証明書を取得し、任意のメールソフトを使ってユーザーの端末に送信します。
 -  KUNAI for iPhone : [MDMオプションを使用していない](#)
 -  KUNAI for Android : [リモートサービス接続の場合](#)

設定ファイルを送信するまでの流れ

KUNAIの設定ファイルを準備し、KUNAIを利用するユーザー宛てに送信するまでの流れを説明します。

Step1

KUNAIの利用条件を満たしていることを確認します。

 [利用条件](#)

Step2

システムメールアカウントの設定が完了していることを確認します。

KUNAIの設定ファイルは、メールでユーザーに送信されます。
 このメールの差出人情報に、システムメールアカウントを使用します。
 次の両方の設定が必要です。

- システムメールアカウントをKUNAIの設定ファイル送信に使用する。
 [システムメールアカウントを使う機能を設定する](#)
- システムメールアカウントを設定する。
 [システムメールアカウントを設定する](#)

Step3

お使いのVPN環境を経由して、オフィス外からサイボウズ Officeにアクセスできることを確認します。

VPN環境の利用方法については、VPN環境を構築したネットワーク管理者に確認してください。

Step4

KUNAIで使用するアプリケーションを有効にします。

 [KUNAIで利用できるアプリケーション](#)

Step5

KUNAIで使用するアプリケーションを設定します。

 [KUNAIで使うアプリケーション](#)

Step6

KUNAIのユーザー情報を設定します。

 [ユーザー情報を設定する](#)

Step7

サイボウズ Officeをインストールしているサーバーで基本認証を利用しているかどうかを確認します。

基本認証を利用している場合、設定ファイルに基本認証のアカウント名を設定します。

 [設定ファイルに基本認証を設定する](#)

基本認証を利用していない場合、Step7に進みます。

Step8

ユーザーの端末にKUNAIがインストールされていることを確認します。

端末のホーム画面に  が表示されている場合は、インストールが完了しています。
 KUNAIの接続設定は未完了の状態です。

Step9

KUNAIの設定ファイルを送信します。

 [設定ファイルを送信する](#)

Step10

各ユーザーにKUNAIの初期設定を依頼します。

 [KUNAIの接続設定をする](#)

設定ファイルに基本認証を設定する

サイボウズ Officeをインストールしているサーバーで基本認証を利用している場合、KUNAIの設定ファイルに基本認証を設定します。

1. システム設定画面で、 **モバイル** をクリックします。
 [システム設定画面にアクセスする](#)
2. KUNAIの  **基本認証の設定** をクリックします。
3. **基本認証のアカウント名**を入力し、**設定する** をクリックします。

KUNAIの設定ファイルに、基本認証の情報が同梱されます。

設定ファイルの差出人を設定する

差出人情報は必ず設定する必要があります。

次のどちらかの方法で設定してください。

差出人にシステムメールアカウントを使用する

KUNAIの設定ファイルのメール送信の差出人にシステムアカウントを使用する場合は、次の手順で設定します。

Step1

設定ファイルの送信にシステムメールアカウントを使用する設定にします。

1. システム設定画面で、 **システムメールアカウント** >  **使用する機能** の順にクリックします。
 [システム設定画面にアクセスする](#)
2. 「メール送信」欄で「KUNAIかんたん設定ファイルの送信に使用する」を選択し、**設定する** をクリックします。
3. システム設定（システムメールアカウント）メニューで  **システムメールアカウントの登録** をクリックし、システムメールアカウントを設定します。
操作の詳細は、次のページを参照してください。
 [システムメールアカウントを設定する](#)

Step2

設定ファイルを送信します。

 [設定ファイルを送信する](#)

差出人にユーザーのメールアカウントを使用する

KUNAIの設定ファイルのメール送信の差出人にユーザーのメールアカウントを使用する場合は、次の手順で設定します。

Step1

システム管理者の作業 設定ファイルの送信にシステムメールアカウントを使用しないよう設定します。

1. システム設定画面で、 **システムメールアカウント** >  **使用する機能** の順にクリックします。
[システム設定画面にアクセスする](#)
2. 「メール送信」欄で「KUNAI かんたん設定ファイルの送信に使用する」の選択を外し、**設定する** をクリックします。

Step2

システム管理者の作業 メール機能を有効にします。

1. システム設定画面で、 **使用するアプリケーション** をクリックします。
[システム設定画面にアクセスする](#)
2. 「メール」が選択されていることを確認し、**設定する** をクリックします。

Step3

システム管理者の作業 ユーザーのメールアカウントを登録します。

1. システム設定画面で、 **メール** >  **メールサーバーの登録** をクリックし、メールサーバーを設定します。
操作の詳細は、次のページを参照してください。
[メールサーバーの設定](#)
2. システム設定画面で、 **メールアカウントの登録** をクリックし、各ユーザーのメールアカウントを設定します。
操作の詳細は、次のページを参照してください。
[メールアカウントの設定](#)

これで、システム管理者側の設定は完了です。

Step4

ユーザーの作業 端末に自分自身のログインURLを送信します。

Step3が完了したら、ユーザーに設定ファイルの送信準備が完了したことを連絡してください。

[個人設定：端末に設定ファイルを送信する](#)

設定ファイルを送信する

KUNAIの設定ファイルを添付したメールを、指定するユーザーのモバイルメールアドレスにまとめて送信します。
次の手順に従って設定ファイルを送信する場合、メールの差出人(From)には、システムメールアカウントが使用されます。



● クライアント証明書について

お使いのVPN環境でクライアント証明書を要求する設定をしている場合は、KUNAIの利用時にクライアント証明書が必要です。
KUNAIの設定ファイルには、VPN環境のクライアント証明書を同梱できないため、この設定ファイルとは別に、クライアント証明書をユーザーに提供する必要があります。
お使いのVPN環境のクライアント証明書の設定や取得方法は、ネットワーク管理者に確認してください。

- KUNAIの設定ファイルは、個人設定からでも送信できます。

1. 「設定ファイルを送信するまでの流れ」のStep1～Step7 までの設定が完了していることを確認します。

[設定ファイルを送信するまでの流れ](#)

2. システム設定画面で、 **モバイル** をクリックします。

[システム設定画面にアクセスする](#)

3. 「KUNAI」セクションの  **設定ファイルの送信** をクリックします。

4. 設定ファイルを送信するユーザーを選択し、 **送信する** をクリックします。

KUNAIの接続設定をする

ユーザーの端末で、設定ファイルを起動し、KUNAIの接続設定をします。
システム管理者が端末の準備をする場合は、下記の操作をしてください。
各ユーザーに操作を依頼する場合は、下記の手順を連絡してください。

1. KUNAIをインストールしている端末で、設定ファイルが添付されたメールを開きます。

2. 設定ファイルをタップします。

KUNAIが自動的に起動します。

お使いのメールソフトによって、設定ファイルをタップしても、KUNAIが起動しない場合があります。
その場合は、設定ファイルをmicroSDカードに保存してから、保存した設定ファイルを開きます。

3. KUNAIの画面で、ログイン情報を入力し、 **ログイン** をタップします。

クライアント証明書をKUNAIにインポートしている場合は、クライアント証明書のパスワードをあわせて入力します。

4. KUNAIとサイボウズ Officeのデータがシンクされたことを確認します。